

外来語系接尾辞「チック」の造語について

王雨・東北大学

1. はじめに

外来語系接尾辞に関する研究はまだ十分に行われておらず、特に「チック」という接尾辞は造語力が高く、名詞と結合することでその派生語全体を形容動詞に転換する機能を持っている。コーパス^{注1}中では次のような用例が挙げられる。

(1) 文化の視点からながめていくと、様々なかわいいものが登場したメルヘンチックな時代と錯覚してしまう。
(BCCWJ『少女雑誌論』1991)

(2) そんなサラリーマンの姿には漫画チックな哀愁がある。
(BCCWJ『PRESIDENT』2002)

上記の例文から分かるように、「チック」は「メルヘン」「漫画」などの名詞に後接し、それらの名詞の性質を持った和製の形容動詞を作る。『日本国語大辞典 第二版』では「チック」の前接語基は名詞のみとして扱われているが、以下のような形容動詞語幹や名詞句との結合に関する言及は見られない。

(3) 営業バイト（塾講師）用のものをそのまま。ちょっとおしゃれチックに。友達と話す。
(BCCWJ『relax』2001)

(4) 海母水はヨカッタ。日本の銭湯チックで。汗蒸幕もいいけどチムチルバンの方がまろやかな熱さかな。
(BCCWJ『無敵のソウル』2002)

例文を見ると、「チック」の前接語基には形容動詞語幹の「おしゃれ」や名詞句の「日本の銭湯」の用法も存在し、その許容範囲は広い。ただし、「チック」は全ての語基に結合するわけではない。

そこで本発表では、外来語系接尾辞「チック」を中心に、その造語について、語構成的特徴及び意味用法を考察することを目的とする。具体的には、実際の使用で「チック」がどのような語基と結合されているのかを調査し、前接語基の語種、品詞、意味の3つの観点から論じる。その上で、「チック」の文法機能と意味用法を解明する。この分析を通じて、「チック」の造語力が高い原因の一端を窺う事ができると考えられる。このことは、外来語に対する、日本語学習者のより深い理解につながるとともに、日本語学習における語彙力の向上を促進することが期待される。

2. 先行研究

日本語の接辞に関する研究としては、和語や漢語に対する記述が盛んになされてきた（野村（1978）、山下（2008）、中川（2010）など）が、外来語の接辞に関する研究はまだ十分には進んでいないのが現状である。特に、漢語接尾辞「的」については、遠藤（1984）、山下（1999、2000）、望月（2010）などが論じているが、同様の意味を表すとされる外来語系接尾辞「チック」については村中（2012）、荻野（2013）以外に見当たらず

ない。よって、本発表ではまだ十分に論じられていない「チック」を取り上げることにした。既存の漢語接尾辞「的」があるのに対して、なぜ外来語系接尾辞「チック」が日本語に取り入れられたのか、「的」と類義外来語「チック」の造語機能にはどのような関わりがあるのかを、明らかにする必要があると思われる。

接尾辞「チック」に関して、村中（2012）は、抽象的な意味を持つ接尾辞「チック」が後接して新しいナ形容詞となった派生語に注目し、「CD-毎日新聞記事データベース」、BCCWJの2種類のデータを用いて分析を行い、「チック」の使用頻度、前接語基、「チック」によって形成されたナ形容詞が修飾するもの、出現分野といった、「チック」の使用状況や造語力を詳細に分析した。一方、荻野（2013）は、英語の「-tic」を外来語として受け入れる際に「-チック」とするか「-ティック」とするかという語形のゆれを調査し、「-tic」のゆれが3段階の過程を経ることを明らかにした。ただし、村中（2012）や荻野（2013）は、「チック」を有する派生語の形態的側面に焦点を当てており、事例に関する分析は行っていない。そのため、外来語系接尾辞「チック」が日本語の造語過程でどのような意味機能を持つのかを調査する必要があると考えられる。

3. 研究方法および結果の分析

現代日本語における派生語「A チック」（「チック」の前接語基をAで表す）の使用実態を調べるため、NWJCとBCCWJという2つのコーパスを使用し、短単位検索で、キーを「語彙素-「%チック」」という条件で検索した。その結果、異なり語数で326例、延べ語数で603例の結果^{注2}を得た。異なり語数が多い一方で、延べ語数が比較的少ないことから、派生語「A チック」は多様性があるものの、その多くが出現頻度1という低い出現頻度を持つことが分かった。

各コーパスにおける用例の分布を見ると、BCCWJでは異なり語数が87例、延べ語数が146例であり、NWJCでは異なり語数が268例、延べ語数が457例となっている。このことから、NWJCはBCCWJと比較して異なり語数も延べ語数も多く、NWJCの約3倍であることが分かった。このうち、「乙女チック・メルヘンチック・漫画チック」などの29例は高頻度で出現しており、両コーパスにて出現している。

望月（2010）によれば、漢語接尾辞「的」は硬い語感を有し、漢文訓読体の学術文や評論文に多く出現しているとされているが、外来語系接尾辞「チック」は「的」とは異なり、ウェブコーパス上での異なり語数が多いことから、より日常的でくだけた文脈で多く使われていると考えられる。

4. 「チック」の前接語基について

本節では「チック」の前接語基の語種、品詞、意味などの語構成的な性質を分析する。

4.1 前接語基の語種

まず、前接語基の語種を調べた結果を表1に示す。

表 1 前接語基の語種別

語種	延べ語数 (比率)	異なり語数 (比率)	語例
外来語	236 (39.2%)	116 (35.6%)	<u>アニメ</u> チック・ <u>メルヘン</u> チック
漢語	164 (27.2%)	99 (30.4%)	<u>都会</u> チック・ <u>漫画</u> チック
和語	125 (20.7%)	48 (14.7%)	<u>乙女</u> チック・ <u>おばさん</u> チック
固有名詞 ^{注3}	43 (7.1%)	34 (10.4%)	<u>楳図さん</u> チック・ <u>日本</u> チック
混種語	35 (5.8%)	29 (8.9%)	<u>キャバ嬢</u> チック・ <u>昼メロ</u> チック
合計	603 (100%)	326 (100%)	

表 1 を見ると、「チック」は様々な語種の語基と結合するが、外来語と最も結合しやすいと言える。これは、外来語系接尾辞が外来語の語基と結合する傾向が強いためである。異なり語数も延べ語数も、「外来語・漢語・和語・固有名詞・混種語」の順に語数が多い。延べ語数と異なり語数を比較すると、外来語と和語は延べ語数の比率がより高く、反対に漢語・固有名詞・混種語は異なり語数の比率がより高い。これは、外来語と和語には出現頻度の高い語が含まれ、それらが繰り返し出現しているのに対し、その他の語種では、前接語基は出現頻度が低いものが多く、多様であることを示している。平均の出現頻度^{注4}は、外来語が 2.0、和語 2.6、漢語 1.7、固有名詞 1.3、混種語 1.2 であり、これらの数値から各語種の平均出現頻度が低いことが分かる。

造語の点から見ると、「チック」は外来語のみならず、漢語・和語・固有名詞・混種語といった様々な語種と結合していることから、高い造語力があることが分かる。

4.2 前接語基の品詞と意味分類

次に、前接語基の品詞と意味の分類を、『分類語彙表 増補改訂版』（以下『分類語彙表』と省略）の分類に従って行った。『分類語彙表』では、意味的な分類と文法的な分類の両方より、品詞別に意味分類を行っている。これに従い調査した結果を表 2 に示す。

表 2 前接語基の意味分類（異なり語数）

	大項目	語数	比率	語例
体の類	1.1 抽象的關係	32	9.8%	<u>オカルト</u> チック・ <u>変態</u> チック
	1.2 人間活動の主体	110	33.8%	<u>お嬢様</u> チック・ <u>乙女</u> チック
	1.3 人間活動精神および行為	113	34.7%	<u>音楽</u> チック・ <u>漫画</u> チック
	1.4 生産物および用具	34	10.4%	<u>お菓子</u> チック・ <u>自動車</u> チック
	1.5 自然物および自然現象	20	6.1%	<u>アニマル</u> チック・ <u>溶岩</u> チック
用の類	2.1 抽象的關係	1	0.3%	<u>捨て置く</u> チック
相の類	3.1 抽象的關係	4	1.2%	<u>高級</u> チック・ <u>ルーズ</u> チック
	3.3 人間活動精神および行為	11	3.4%	<u>リリカル</u> チック・ <u>レトロ</u> チック
	3.5 自然物および自然現象	1	0.3%	<u>不健康</u> チック
合計		326	100%	

まず、結合語基の品詞から見ると、「体の類」が最も多く、これは前接語基として「体の類」が「チック」と頻繁に結合することを示している。また、「相の類」の使用は相対的に限定的である。さらに、「用の類」の語基は存在するものの、この種の語基と「チック」との結合は稀であることが分かる。

次に、前接語基の意味分類の大項目に注目すると、前接語基が様々な意味分野に幅広く分布していることが分かる。特に、「1.3&3.3 人間活動精神および行為」は合計で38.1%と最も多く、続いて「1.2 人間活動の主体」が33.8%を占め、これら2つのカテゴリだけで約71.9%を占めている。これは、前接語基が主に人間やその活動に関連する概念に集中していることを示している。その中項目^{注5}を見ると、最も多い「1.3&3.3 人間活動精神および行為」の中項目の「1.32 芸術」が55.8%を占めているのが目を引く。この「1.32 芸術」をさらに詳しく見ると、小項目^{注6}のうち「映画」「美術」「音楽」などに分類される語が多く、「アニメチック・漫画チック・歌謡曲チック」などの例が挙げられる。大項目の中で次に多い「1.2 人間活動の主体」では、中項目の「1.23 人物」が31.8%と多くを占め、その小項目のうち「固有人名」「人物」「社会階層」などに分類される語が多く、「榎岡さんチック・アイドルチック・セレブチック」などの例がある。

さらに、大項目「1.1&2.1&3.1 抽象的關係」の語基は全体の11.3%となっており、その中で中項目「1.16 時間」が特に多く、40.6%を占めている。この中項目には、小項目の「時代」「順序」「季節」などがあり、「昭和チック・ビフォアフターチック・夏チック」などの例がある。

これに対して、大項目「1.4 生産物および用具」は全体の10.4%となっており、中項目「1.43 食料」は26.5%と多い。この中には小項目「菓子」「料理」「肉」などがあり、「お菓子チック・天ぷらチック・切り身チック」などの例があった。

なお、大項目「1.5&3.5 自然物および自然現象」は全体で6.4%と少ないが、その中には中項目「1.55 動物」が23.8%を占めている。この中には小項目「哺乳類」「魚類」「動物」などがあり、「狼チック・うなぎチック・アニマルチック」などの例があった。

以上に述べた前接語基の意味分類の傾向をまとめると、主に3つのグループに分けられる。まず、「1.2 人間活動の主体」「1.4 生産物および用具」「1.5&3.5 自然物および自然現象」は、それぞれ分類される具体的な人物や人名を示す固有名詞など、生産物や自然物など、より具体的な概念を表す語のグループで、50.6%と最も多い。次に「1.3&3.3 人間活動精神および行為」は、人間の精神や行為を表す語で、38.1%を占める。さらに、「1.1&2.1&3.1 抽象的關係」は、全体の11.3%を占めている。

5. 「チック」の文法機能と意味用法

本節では「チック」の文法機能と意味について見る。前接語基の語種、品詞、意味分類との関係を踏まえながら、派生語「A チック」の後接形態との意味関係を中心に考察する。

5.1 「チック」の文法機能

望月（2010）では、漢語系接尾辞「的」の文法機能を、後接形態を基準にして「連体用法」「連用用法」「終止用法」の3つに分類している。本発表では、「チック」が実際の

文脈においてどのように機能しているのかを調べるために、望月（2010）の分類を用い、結果を次の3種類に整理する。括弧内には延べ語数とその比率を示す。

(5) 連体用法（366（60.7%））

- a. 「A チック」が単独で直接に体言を修飾（直接連体用法）（例）乙女チック症候群
- b. 「A チックな」の形で体言を修飾（例）メルヘンチックな時代
- c. 「A チックの」の形で体言を修飾（例）お嬢様チックの方

(6) 連用用法（124（20.6%））

- a. 「A チックに」の形で用言を修飾（例）メルヘンチックに想像して
助詞の「は」がついて「A チックには」の形で用いられることもある。
- b. 「A チックで」の形で用言を修飾（例）英語チックで理解しやすい
- c. 「A チックから」の形で用言を修飾（例）自動車チックから脱皮して

(7) 終止用法（113（18.7%））

- a. 断定の「だ」「だった」などが接続（例）ちょっとホラーチックだった。
- b. 「で」「です」「でした」「ではない」「でしょう」などが後続（例）なんだか乙女チックです。
- c. 「A チック」の後ろに名詞を伴わず、文を終わる用法である。（例）なんか、パッと見お菓子チック。

以上のように、連体用法が最も多く、全体の60.7%を占めていることから、「チック」の基本機能は連体用法だと言える。この用法では「な」を伴う形が332例あり、連体用法の90.7%を占めていた。その次に多いのは連用用法で、全体の20.6%を占めている。助詞「に」「で」「から」など複数の助詞を伴い用言を修飾することができる。この用法では様々な形態があるが、「A チックに」の形が88例で、連用用法の71.0%を占めていた。また、終止用法は全体の18.7%で、断定辞や助動詞との接続、そして文の終わりとしての「チック」の用法が挙げられるが、特に文を終わらせる用法が55例で、終止用法の48.7%を占めていた。

5.2 「チック」の意味用法

「チック」の意味用法を考えるには、派生語だけでなく、それら派生語が使われている文脈の中で判断する必要がある。張（2016）は、連用修飾形式「的な」の文末用法を「現状と事態 X との関係」を基準に「推量・比喻・婉曲」の3つに分類している。本発表では、この張（2016）の分類を援用し、結果を以下の3種類に整理する。

5.2.1 推量

現状と事態 X との関係が不明、または未確定である場合、「チック」は推量を表す。

- (8) 去年の十一月に WOWOW で録画したものをようやく観ましたです。先に見えるお話でサスペンスチックなんでしょうけど、あんまし意外でもなかった。

(BCCWJ Yahoo! ブログ 2008)

(9) 丸坊主に、フリーハンドの無線、しかも黒ずくめ、じつに右翼チックではないか。

(NWJC)

例文 (8) (9) は発話者が持っている情報に基づいての推量である。発話者は「先に見えるお話でサスペンス (= 事態 X) なのではないか」、また「じつに右翼 (= 事態 X) ではないか」と推測しているが、実際の現状が本当に「サスペンス」であるか、「右翼」であるかどうかは確認していないため、推量を示していることになる。

5.2.2 比喩

現状と事態 X が何らかの関連性を持っているものの、性質上では、違うものである場合、「チック」は比喩を表す。

(10) もみじまんじゅうに天ぷらチックな衣をつけて揚げたもの。こしあん・クリーム・チーズの3種類があったんだけど。 (BCCWJ Yahoo! ブログ 2008)

(11) お店は多国籍料理のお店で、案内されたのがアジアチックな内装の半地下室の素敵な個室でした「あいねえ〜」と友達と話してたんですが。 (NWJC)

例文 (10) では、「もみじまんじゅうは天ぷらのような衣を使ったもの」という意味である。つまり、天ぷらのような外見、食感が感じられるが、本当の天ぷらではないというニュアンスである。例文 (11) では、「案内されたのがアジア風の内装の半地下室の素敵な個室だった」という意味である。完全にアジアのスタイルではないが、アジア風の雰囲気を感じられるということである。このように、事態 X (= 「天ぷら」「アジアン」) と現状 (= 「衣」「内装」) は性質が似ているため、事態 X が喩えとして使われているが、本質的には異なるものを指す。これを比喩と呼ぶ。

5.2.3 婉曲

現状がまさに事態 X であり、現状と事態 X が一致しているという場合、「チック」は婉曲を表す。

(12) 外を見つめる雷ぞー、何だかオヤジチックな感じ。 (NWJC)

(13) 首筋とかツンツンしてました笑。男子が女子にツンツンしている図が変態チックでみんなで大爆笑。 (BCCWJ Yahoo! ブログ 2008)

例文 (12) では、「雷ぞー」が外を見つめている様子が「オヤジのようだ」と感じているものの、直接「オヤジのようだ」とは言わずに「オヤジチック」という表現を用いている。「オヤジ」という語が場合によってマイナスな意味を持つため、話す時に断定的な表現を避けることで、相手にユーモラスで明るい感覚を与えたり、自分の主張を柔らかくしたりする効果がある。このようなものを婉曲と言う。例文 (13) では、男子が女子の首筋などをツンツンしている様子を表現する際に、その行動が「変態的」と感じられるものの、直接「変態」とは言わず「変態チック」という表現を用いている。これも、その行動を完全に「変態」と断定することを避ける意図があると推測する。(12) (13) のように、現状と事態 X が一致する場面でも、直接的な表現を避けるための婉曲として「チック」が使われる場合がある。

5.3 「チック」の共通の意味

ここまで、「チック」の意味を「現状と事態 X との関係」を基準に分類して考察してきたが、最後に3つの分類からどのような共通の意味を抽出できるかを分析する。

張(2016)では、「的」の基本的意味は「ようだ」と同様に、「現状が事態 X に見える」ことだと述べている。本発表の「チック」もそれと類似していると考えられるため、「A チック B」という構造は、「現状 B と事態 A (=X) のように見える」という意味を持つと言える。具体的には、B の性質が本質的な A の性質とは異なり、A の特性が十分ではないことを示している。言い換えれば、あくまでも A 「風」であり、本質的に A そのものではないというニュアンスが含まれており、また「非本質、非標準」という共通的な周辺の意味も読み取れる。

6. まとめと今後の課題

本発表では、従来あまり目を向けてこられなかった外来語系接尾辞「チック」を対象とし、2つのコーパスを利用して、その造語の特徴を考察した。その結果は以下のようにまとめられる。

- (14) 「チック」はその造語力の高さから多様な派生語を生み出しているが、出現頻度は低いという特徴を持つ接尾辞である。特に、漢語接尾辞「的」と異なり、日常的でくだけた文脈での使用が多いのが特徴である。
- (15) 「チック」の前接語基は語種、意味、品詞が多様で、これが造語の柔軟性を高める要因となっている。語種は、「外来語・漢語・和語・固有名詞・混種語」の順に多くなっており、前接語基の意味は3つのグループに分けられ、具体的な概念を表す語のグループに集中している。また品詞を見ると、「体の類」が最も多く、次いで「相の類」となり、「用の類」は極稀である。
- (16) 「チック」は文法的に連体用法、連用用法、終止用法の3つの機能を持ち、意味の面では、「現状と事態 X との関係」を基準に「推量・比喻・婉曲」の3つに分類することができる。また、「チック」は「現状が事態 X に見える」という共通意味を持つが、「非本質、非標準」という周辺の意味も持っている。

「チック」の造語特徴は以上のようにまとめられるが、この「チック」と類義形式の漢語系接尾辞「的」との比較研究がさらに必要であり、これを今後の課題としたい。

注

注1：本発表では、国立国語研究所で開発された『国語研日本語ウェブコーパス中納言版』（以下 NWJC）と『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（以下 BCCWJ）を使用し、用例を収集した。

注2：検索結果において、派生語以外に、語の内部に句が包み込まれる「句の包摂」という現象が5例見られた。しかし、例が限られているため、本発表ではこれらの用例を除いた。具体例は以下の通りである。「ランクバックが開催中だったため眠たいっているチックのワンピーとリオベラの 809 クロバ刺繍がとってもお気に入り (NWJC)」「セーラー服とほにゃらら編チックに撮影って

みまんだが萌えましたかあ〜? (BCCWJYahoo!ブログ 2008)」「子供の世話もろくろくできないチックではあるが、彼女にとってマグラス三姉妹は邪魔な存在である。(BCCWJ『アメリカ女性演劇クロニクルズ』2004)」「(一ヶ月お試し版)をいれたり何だかんだで DVDの焼き込みもできないチックなので (NWJC)」「波長が合うチックな親戚 (NWJC)」

注 3: 本発表では語種として、「和語」「漢語」「外来語」「混種語」「固有名詞」の 5 種を立てた。人名、地名は語種ではないが、その出現頻度の高さを考慮して、語種と同列に扱う。

注 4: 平均頻度の計算方法は、延べ語数 (出現頻度) を異なり語数 (出現種類) で割った数値とする。

注 5: 「中項目」は表記が多くなるため、省略し、主要な分類のみを記述する。

注 6: 「小項目」も注 5 と同様とする。

参考文献

- 遠藤織枝 (1984) 「接尾辞『的』の意味と用法」『日本語教育』53 pp.125-138 日本語教育学会
- 荻野綱男 (2013) 「外来語の語形のゆれ—チックとティッカー—」『計量国語学』29 巻 1 号 pp.34-39 計量国語学会
- 張 明 (2016) 「連体修飾形式「的な」の文末用法」『日本語/日本語教育研究』7 pp.35-49 日本語/日本語教育研究会
- 中川秀太 (2010) 「字音形態素『新』の造語機能」『漢語の言語学』pp.141-158 くろしお出版
- 野村雅昭 (1978) 「接辞性字音語基の性格」『国立国語研究所報告 61 電子計算機による国語研究 IX』pp.102-138 秀英出版
- 宮地 裕 (1973) 「現代漢語の語基について」『語文』31 pp.68-80 大阪大学国語国文学会
- 村中淑子 (2012) 「接尾辞「チック」について「CD-毎日新聞」(1991-2005) および BCCWJ を用いて」『国際文化論集』45 pp.115-144 桃山学院大学総合研究所
- 望月通子 (2010) 「接尾辞「～的」の使用と日本語教育への示唆—日本人大学生と日本語学習者の調査に基づいて—」『関西大学外国語学部紀要』2 pp.1-12 関西大学外国語学部
- 山下喜代 (1999) 「字音接尾辞「的」について」『森田良行教授古希記念論文集』pp.24-38 明治書院
- 山下喜代 (2000) 「漢語系接尾辞の語形成助辞化—「的」を中心に—」『日本語学』19 巻 13 号 pp.52-64 明治書院
- 山下喜代 (2008) 「現代日本語の語構成要素—和語を中心に—」『青山学院大学紀要』49 pp.141-158 青山学院大学文学部

調査資料

- 国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)
https://www.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/ (2023 年 6 月 20 日確認)
- 国立国語研究所『国語研日本語ウェブコーパス中納言版』(NWJC)
<https://chunagon.ninjal.ac.jp/nwjc/search> (2023 年 6 月 20 日確認)
- 国立国語研究所 (2004) 『分類語彙表増補改訂版』大日本図書
- 日本国語大辞典第二版編集委員会 (2001) 『日本国語大辞典 第二版』小学館